

第5回 議会改革協議会 会議要旨

開催日：平成29年11月14日（火曜日）

会場：議会運営委員会室

出席者：戸町座長、村上議員（自由民主党）※村上議員は代理出席
成重議員、松岡議員（公明党）
森議員、奥村議員（ハートフル北九州）
荒川議員、大石議員（日本共産党）

議題：

- 1 第4回議会改革協議会の協議結果について（確認）
- 2 議会活動の効率化、議場整備について
- 3 議会活動の広報強化について
- 4 政務活動費支出の透明性の向上について
- 5 第6回協議会について
- 6 その他

主な意見など

1 第4回議会改革協議会の協議結果について（確認）

【事務局説明】

※資料1のとおり、第4回議会改革協議会の協議結果を取りまとめ、市議会ホームページに掲載したことを報告。

【座長】

- ・ただ今の説明について、ご確認いただけるか。（全員了承）

2 議会活動の効率化、議場整備について

(1) PC・タブレットの利用、ペーパーレス化

【座長】

- ・報告書案（資料2）について、ご了承いただけるか。（全員了承）
- ・私から代表者会議に報告する。

3 議会活動の広報強化について

(1) 議会活動の公開

○ ケーブルテレビ・ネット中継の拡大

【座長】

- ・中継内容については、全ての本会議とするのか、予算決算特別委員会の局別審査まで拡大するのか、中継の方法について、ケーブルテレビまで拡大するのか、ネットの中継とするのか、中継内容によっては、会議の運営方法について、討論の時間制限や発言

通告制の導入など運営方法をルール化するのか、現状の運営のまま中継するのか、整理する必要がある。

※以下、意見交換

【自由民主党】

- ・会派の中には、「最終日の放映は厳しいのではないか」や「現状のままでよい」という意見がある。

【公明党】

- ・中継の方法については、コストの面について、比較対照すべきだと思う。
- ・運営方法については、公正性という部分で、しっかり中身を論議すべきだと思う。課題だと思っている。

【ハートフル北九州】

- ・中継の方法については、ケーブルテレビだと枠を確保しておかないといけない課題があると聞いており、インターネットのほうが、手法としても、費用対効果としてもやりやすいと思う。
- ・方向としては、前向きに考えて良いのではないか。

【日本共産党】

- ・全ての本会議について、ケーブルテレビ・ネットともに中継を、是非行っていただきたい。予算・決算特別委員会分科会の審査は、三つの分科会に別れており、ケーブルテレビは難しいと思うが、ネット中継での録画放映も含めて、公開していくことが必要だと思っている。
- ・討論については、会派としては、必要なことはきちんと述べるし、国政問題との関連については、関連する所で触れることはあるが、討論の主旨に関係がないことについては、触れることは望ましくないということで臨んでいる。我々なりに常識的なそういうスタンスで臨んでいると思っている。ただ、討論の発言時間については、他都市の例もあるので、そこを議論していくことについてはやぶさかではない。

【座長】

- ・他都市のネットの局別審査を見たが、質問事項を事前通告してそれに対する答弁をすることのやりとりで、非常に形式的になっていた。本市議会の局別審査では、基本的には、一問一答のようなかたちになっており、そのままネットで流せるのかどうなのかも含めて、会派に持ち帰って、検討願いたいと思う。
- ・次回以降、引き続き、もう少し掘り下げて議論をしていきたい。

○ 委員会議事録の公開

【座長】

- ・報告書案（資料3）について、ご了承いただけるか。（全員了承）
- ・私から代表者会議に報告する。

○ 視聴環境の改善

【座長】

- ・協議会としては、「パソコンやスマートフォンなど端末を選ばずにインターネット中継が見られるよう、改善することが望ましい。」ことを結論としたいと考えるがどうか。(全員了承)
- ・以上について、代表者会議に報告するための報告書案の作成を事務局に指示する。(全員了承)

(2) 議会活動の公開

○ 議会報告会

※資料4の論点にそって、今後の議会報告会について会派意見の発表

【自由民主党】

- ・決算に基づく説明では、市民が聞きに行こうという気持ちになかなかならない。関心があるということは課題があるということの裏返しだと思うので、そういうところを深掘りしないとなかなか関心が高まらないのではないか。
- ・開催形態については、参加者が意見を述べ合うシンポジウム(討論会)形式が、一番よいと思う。ただ、専門家まで入ったところで、どこまで議員がやれるのかというのが本音ではある。参加する側の意識は、シンポジウム形式のほうが深まる気がする。
- ・回数については、基本的に年に1回で、何か市政に大きな課題があれば、それに応じて必要を考えてみたらどうか。

【公明党】

- ・決算だと、以前、「一回聞いたらもうわかった」と言われたことがあり、やってもあまり意味がないと思う。やるのであれば、先日、青年会議所が主催して高校生と行ったような形式であれば、本当に行ってみようと思うのではないか。
- ・開催形態は今のようなかたちでよい。枠を広げて、中学生や青年、女性に対して行うのもよい。
- ・回数は1回でよい。

【ハートフル北九州】

- ・人が集まっている場所で開催するのも一つだと思う。学校や、男女共同参画センターあるいは商店街といった、これまで来たことがない層が集まる場所でやることで、新しい層の参加者を開拓できるのではないか。高校や大学に対しては、主権者教育も兼ねて、関心を高めてもらえるのではないか。
- ・内容については、昨年度の決算だと、市民にとってはただ聞くだけの話になってしまっている気がする。再考の余地がある。
- ・現行の講演会形式だと、司会者の負担が非常に大きいし、さばき方によって全然違う内容になってしまう。司会者は議会と関係のない、慣れたファシリテートができる人をお願いしたほうがいいのではないか。
- ・回数は、今の状況なら1回でよい。

【日本共産党】

- ・会派の中では、今の議会報告会ではよくないという意見があった。会派の考え方を述べられないのもどかしいという意見もあった。
- ・ワークショップ方式やシンポジウム方式など、市民と一緒に意見交換し合う方式もよいのではないか。
- ・会津若松市では、例えば池の周りで問題が発生している場合、上下水道委員会が聞きに行き、その問題にテーマを絞ったかたちで議会報告会を行っていた。そのようにしてもよいと思う。

【座長】

- ・議会報告会は議会基本条例で規定されており、議会基本条例検討会の小委員会の中で、議会報告会では会派の意見を出さずに議会の報告を行うことが決められた経緯がある。このことが議会報告をする議員の負担になっており、聞いている人たちのストレスになっているのではないかと感じている。この点を少し見直さないと、議会報告会の改革が前に進まないのではないかと考えており、意見を聞きたい。

【自由民主党】

- ・議会の中で議論すべきことを、決まった後で「自分たちはこうだ」と言うのはどうかと思う。聞いている人は意見が違うほうが楽しいだろうが、議会で決まった事柄に関しては難しい。これから議論して決めていく事柄に関してはそれでもよいが、そこは分けなれないといけない。

【公明党】

- ・議会基本条例検討会の小委員会では、個々の議員のアピールがされては困るということで、意見を出さないことになったと聞いている。ルール決めはきちんとしておいたほうがよいので、今のままでよい。
- ・ルールの中で話す報告の部分と、市民からの課題をもらい議論する部分を分けてもよい。そうすれば、市民の方も来やすくなる。課題について議論する部分についても、紳士のルールに基づいて行うべき。

【ハートフル北九州】

- ・議会基本条例検討会の小委員会では、個々の議員が「自分が自分が」とならないよう、保守的なルール決めをした。ただ、もっと踏み込んだ見解を述べたり、議論があつたりするほうが、聞いている人にも魅力的であろうし、それが新しい種、議会の中での議論の種にもなる。先日の青年会議所が主催した市内の高校生と議員の討論会では、議論のボールがいろんなところで動いていた。高校生が議会の委員会に来て提案をするなど、事業の種にもなっている。うまく解釈を変えたり、報告と議論を分けたりしてもよい。

【日本共産党】

- ・議会の報告だけでなく、特定のテーマについて、それぞれが考え方を出し合う議員どうしの討論や、傍聴者から意見をもらってさらに深めていくことまでは考えていく必要がある。
- ・決算は既に終わったことなので、予算のほうが市民にとって関心がある。

【座長】

- ・議会報告会は、市民との協働によるという議会基本条例の理念に深く関わっている。議員全体の話として、会派のほうに持ち帰って議論していただきたい。
- ・次回は、議会報告会実施項目の案を示したい。具体的な実施項目について、深く議論をしていきたい。

○ 市議会だよりについて

【事務局説明】

※政令市の広報紙編集委員会等設置状況（資料5）について説明。

【座長】

- ・「市議会だより」については、前回の会議で、まず会派名を掲載するところから始めていくことで意見の一致をみたが、編集委員会の設置の是非にも関連して、各会派に紙面をどのように配分するかなどの編集の基本的なルールについても考える必要がある。次回以降、引き続き議論していきたい。

4 政務活動費支出の透明性の向上について

【座長】

- ・現在まで作業部会を2回開催し、本市の状況などについて、整理してきた。今後も引き続き、協議検討を行い、年度内を目標にとりまとめができるよう進めていきたい。

5 第6回協議会について

【座長】

- ・第6回協議会の開催日程は、事務局に調整させ、決まり次第連絡する。